

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 29. 4. 7 第 193 回国会第 9 号

4 月 7 日（金）、第 9 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・松野文部科学大臣、丸川国務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）、三木財務副大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
（参考人）日本原子力研究開発機構理事長 児玉敏雄君

（質疑者及び主な質疑内容）

安藤 裕君（自民）

- ・政府が世界大学ランキングにおける順位を大学評価の指標として用いることにより、英語による発表論文の少ない文系分野などが予算配分や人員配置等の面で不利益を被っていることはないのか、文部科学省に伺いたい。
- ・母国語を用いてこそ世界最高水準の授業を提供できるのであり、我が国への留学生を増やすためには、英語を用いた授業を増やすよりも、我が国の母国語である日本語の授業を提供することによる方が望ましいと考えるが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・学術研究に対する予算配分について、短期的に成果の出る応用研究ばかりでなく、成果が出るまでに時間のかかる基礎研究に対しても十分な予算措置を講ずるべきだと考えるが、松野大臣の見解を伺いたい。

坂本 祐之輔君（民進）

- ・幼稚園における体罰問題がいくつか確認される中で、文部科学省は私立幼稚園に対する調査・指導については消極的であるように思われる。幼児期における教育は重要なものであることを踏まえ、幼稚園でも不適切な教育や虐待等が行われていないか、各都道府県と協力して全国的に調査すべきであると考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・学校の部活動において、例えば、陸上部に所属する生徒が鉄分の摂取のため造血剤の服用や注射を行う等の行き過ぎた事例も散見される。このような運動部の行き過ぎた活動を改善する必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・中学校の次期学習指導要領において英語の授業は英語で行うことが示されたが、先日公表された「英語教育実施状況調査」により、政府が目標とする英語検定準 1 級相当の資格を有する教員は 3 割強しかいないこと

が明らかとなった。この状況を踏まえても、中学校において英語で授業を行うことは可能だと考えるか、文部科学省の見解を伺いたい。

平野博文君（民進）

- ・再就職等監視委員会の調査に対し隠蔽を図った行為は、再就職等規制違反とは異なる意味で文部科学省への信頼を失墜させた要因と考えるが、松野大臣の認識を伺いたい。
- ・生命保険会社顧問等の特定のポストに、代々文部科学省職員が再就職することは事実上の天下りに当たると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・今後の核燃料サイクル政策において、高速増殖原型炉「もんじゅ」を廃止しつつも、高速炉研究開発は継続するとの政府方針に対しては、「もんじゅ」を廃止することによるマイナス面を直視すべきであると考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。

大平喜信君（共産）

- ・昭和 23 年、衆議院本会議にて教育勅語等排除に関する決議を行った際、森戸文部大臣（当時）が、教育勅語は、法制上はもちろん、行政上、思想上も効力を喪失している旨の発言をしているが、その趣旨について松野大臣に伺いたい。
- ・文部省編纂の「国体の本義」（1937 年）における教育勅語に関する記述内容及び同書において述べられている「忠の道」の意味について伺いたい。
- ・森戸文部大臣（当時）の発言や歴史的な経緯等を踏まえれば、教育勅語の一部分であっても教材として肯定的に使用してはならないと考えるが、松野大臣の見解を伺いたい。

伊 東 信 久君（維新）

- ・教育費の無償化に関する文部科学省における検討状況について、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が一元管理するインターネット上のアンチ・ドーピング管理運営システム（ADAMS）におけるサイバーテロ対策への取組の現状について、丸川大臣に伺いたい。
- ・2020年東京大会に必要とされるドーピング検査員の確保及び質の向上に向けた取組の進捗状況について、スポーツ庁に伺いたい。

吉 川 元君（社民）

- ・教育勅語を日本国憲法や教育基本法に反しない形で学校教材として使用できる具体的な事例について、松野大臣に伺いたい。
- ・文部科学省が他省庁職員2名の大学への天下りをあつせんしたことが判明しているが、この2名以外に大学への天下りあつせんはなかったのか、文部科学省に伺いたい。
- ・今般の天下りあつせん再就職等問題の反省を踏まえ、国立大学法人に多数の文部科学省職員が現役出向している構造を見直すべきだと考えるが、松野大臣に伺いたい。